

# 雲 出 北陵月報

No. 447

令和4年11月30日  
出雲北陵中学高等学校  
土江明文社 印刷

## 吹奏楽部 合唱部 全日本マーチングコンテスト全国大会 銀賞！ 全日本合唱コンクール全国大会 銅賞！

### 吹奏楽部

第35回全日本マーチングコンテスト全国大会

時 11月20日

於 大阪城ホール

8大会連続10度目となる全国大会に出場した。「全国大会金賞」を目標に掲げ、本年度のテーマである「奮進」を胸に、部員達は日々の地道な練習を積み重ね大会に臨んだ。



本番では島根県・中国支部代表として、凛とした姿で立派な演奏演技を披露した。会場から大きな拍手をいただき、銀賞を受賞することができた。他校に比べ、本校は部員数が少なかったが、部員数の多いバンドにも引けを取ら

ない演奏演技であった。

これも偏に様々な面で献身的にサポートしていただいた保護者の皆様、応援してくれる卒業生、ご支援ご声援をいただいている地域の皆様のお蔭と感謝しております。本当に有難うございました。

これからも地域に愛されるバンドを目指し、変わらず日々精進していきたい。(顧問 竹内康貴)

### 合唱部

第75回全日本合唱コンクール全国大会

時 10月29日

於 リンクスステーションホール青森

2年連続19回目の全国大会出場を果たし、生徒達も本番ステージに向けてかなり気合いが入っていた。特に今回自由曲で取り上げた「言葉」という曲は、東日本大震災後に作られた詩をもとに作曲されたこともあり、この曲を東北の地で歌う意味を一人ひとりが深く心に刻んでステージにあがった。コ



ンクール本番では、心地よい緊張感の中、今までの練習の成果を遺憾なく発揮することができた。特にホールを鳴らすサウンドを実現し、意図をもって自分達が表現したいことを表現できたことなど、歌いき

った感があった。結果は銅賞で残念な気持ちもあるが、全国の壁の高さを肌で直接感じるよい機会となった。来年度に向けて今一度基本を大切にしながら、さらに演奏のクオリティ、個人の技量を高めるべく練習に励みたい。(顧問 布野浩志)

### 卓球部

島根県高等学校新人卓球大会

時 11月4〜6日

於 島根県立体育館

〔男子団体〕優勝(6年連続13回目)  
〔決勝リーグ〕

本校 3-0 松江高専  
本校 3-0 明誠  
本校 3-2 松徳学院

※中国選抜出場権を獲得

〈男子シングルス〉

優勝 佐藤卓斗(24歳)  
2位 小野泰和(15歳)

○大会総評

団体戦、個人戦ともに優勝することができたが、全国大会で勝ち上がるためには、まだ技術の正確性、戦術のバ

リエーションが足りない。日本一を目指すための努力を重ねていきたい。



シングルス優勝の佐藤卓斗



6連覇を達成した団体メンバー

JOCジュニアオリンピックカップ  
2022年全日本卓球選手権大会(カデットの部)

時 10月28〜30日

於 ロートアリーナ奈良

〈男子ダブルス〉  
ベスト8

金丸 陽(中2)・三好蒼空(中2) 組

〈14歳以下男子シングルス〉

3回戦敗退 金丸 陽、三好蒼空

〈13歳以下男子シングルス〉

2回戦敗退

波多間怜偉(中1)、松崎優樹(中1)

○大会総評

男子ダブルスで金丸・三好組が昨年に引き続きベスト8(ランキング7位)に入賞することができた。準々決勝では準優勝ペアに惜敗したものの、最後まで持ち前の粘り強さを発揮し、好プレーで会場を沸かせた。今後の練習で課題を克服し、来年はシングルス、ダブルスの2種目で入賞できるように頑張りたい。



ベスト8入賞の金丸(右)・三好組

(顧問 古瀬泰之)

### 男子バスケットボール部

島根県高等学校バスケットボール選手権大会

時 10月29・30日  
於 カミアリーナ

1回戦	シードにより不戦勝
2回戦	本校 117-50 益田
準々決勝	本校 103-55 松江工業
準決勝	本校 77-85 松江東
3位	

○大会総評

準決勝は県総体と同じく松江東との対戦となった。松江東は3年生が残り、本校は新チームで挑んだ。必死に食らいつき接戦となったが、惜しくも8点差で敗退となった。

今年のチームは、県新人戦で松江東に勝利し決勝まで進んだが、新型コロナウイルス感染拡大の影響で辞退した。悔しい不戦敗に加え、県総体も準決勝敗退と、思うような結果が出なかった。

結果は3位だったが、今大会こそ頂点をとり、最後まで諦めず必死に戦った選手の様子は、出雲北陵高校のバスケットボールを体現したと思う。

最後になりましたが、校長先生をはじめ、本校教職員の方々、保護者の皆様、OBや女子バスケットボール部、その他たくさんの方々から多くの声援をいただき、誠に有難うございました。  
(顧問 手島幹人)

### 女子バスケットボール部

島根県高等学校バスケットボール選手権大会

時 10月29・30日  
於 カミアリーナ

2回戦	本校 86-42 浜田
準々決勝	本校 67-57 明誠
準決勝	本校 56-63 松江商

3位

○大会総評

準決勝の松江商業戦では、前半ディフェンスが機能せず相手チームに思うようにプレーされた。しかし後半に入ってから追い上げ、一時5点差まで詰め寄るもその後が続かず、悔しい敗戦となった。3年生を中心に、北陵らしい粘りが見られた試合であった。1、2年生はこの悔しさを忘れず、練習に励み、県新人戦に臨んで欲しい。  
(顧問 篠原勝利)

### 男子ソフトテニス部

島根県高等学校ソフトテニス新人戦

時 10月28・30日  
於 石見海浜公園テニスコート

(団体戦)	本校 ②-1 松江農林
2回戦	本校 1-② 安来
準々決勝	本校 1-② 安来
ベスト8	

(個人戦)

B16 伊藤 快(11位)・堀江結太(24位)  
1ペアが上位大会へ進出

○大会総評

新チームでの初めての団体戦で悔しい敗戦であったが、他校との実力差を改めて感じる大会となった。この経験を今後の糧として、来年の大会に繋げて欲しい。  
(顧問 河野高幸)

### 女子ソフトテニス部

島根県高等学校ソフトテニス新人戦

時 10月28・30日  
於 江津市宮テニスコート

(個人)	2位 水永花音(15歳)・大庭萌愛(14歳)ペア
	3位 木村香夏(15歳)・岡本涼香(14歳)ペア
	果瀬暖花(14歳)・神田桜奈(25歳)ペア

B16	川角莉子(11歳)・森山音羽(14歳)ペア
B32	北井綺羅(11歳)・佐藤 楓(11歳)ペア

5ペアが県選抜インドアへの出場権獲得  
(団体)

2回戦	3-0 江津
準々決勝	2-0 出雲
決勝リーグ①	3-0 松江西
決勝リーグ②	3-0 出雲商業
決勝リーグ③	1-2 松江南

○大会総評

目標としていた団体優勝には届かなかったが、この悔しさを忘れず、中国選抜インドアでは全国大会を目指して頑張っていきたい。応援有難うございました。  
(顧問 金森 快)



### 吹奏楽部

第30回2000人の吹奏楽

時 10月5日  
於 出雲ドーム

本校としては12大会連続13回目の単独演奏出演となった。本年は30回の記念大会で、ゲストとして福岡県の精華女子高等学校吹奏楽部の皆さんに出演いただき、大変盛り上がった会であった。

本校は、今月末に行われる全国大会を前にしての演奏会であり、部員達は一丸となって練習に取り組み、本番では立派なパフォーマンスと演奏を披露した。

11月20日に大阪城ホールで行われる全国大会では最高の演奏演技が出来るよう、更に努力を重ねていきたい。  
(顧問 竹内康貴)

### 地域のイベントに

出演させていただきました

10月16日(日)

2022島根ワイナリーオータムフェスタ  
10月29日(土)  
いずも産業未来博2022

「出雲ドーム2000人の吹奏楽」

ゆめタウン出雲プレイベント

11月3日(木・祝)

スサノオどっこいまつり

コロナウイルス感染対策が講じられ、少しずつ普段の活動が再開されるようになった。秋は各地でお祭りなどが行われ、本校吹奏楽部は下記の地域のイベントに出演させていただくことができた。  
(顧問 竹内康貴)

### 家庭科研究部

11月3日に



「出雲せんざい」をアレンジした新ご当地スイーツメニューコンクール」の二次審査が出雲市内で行われ、内田心花(24位)の作品「ご縁プリン」が最優秀賞に選ばれた。この作品は、出雲の自然やご縁をイメージした小豆と抹茶、卵の風味豊かなプリンであり、イオンモール出雲内の「雲州洋菓子メモリー」にて商品化され、期間限定で販売されることが決定した。

このような機会を与えていただいたことに感謝し、今後も活動に励んでいきたい。  
(顧問 勝部美和子)

### ダンス同好会

第10回雲州平田まちあそび音楽フェス出演



本校同好会からは5名が出演し、合計4曲のダンスを披露した。文化祭以来、久しぶりのステージ発表であった。生徒達は限られた練習時間を有効に活用し、オリジナルの振り付けを完成させた。ステージではその努力を遺憾なく発揮することができた。また、ステージ最後に披露した出演者全員によるダンスはまさに壮観であった。出演に向けてたくさんの方々にサポートしていただき有難うございました。(顧問 遠藤圭晃)

時 10月16日  
於 平田本町通り

### 美術部

薬物乱用防止啓発用ポスター

勝田愛弓(17歳)が健康福祉部長賞受賞!

今年度の薬物乱用防止啓発用ポスターコンクールに本校から9点応募したところ、勝田愛弓(17歳)の作品が健康福祉部長賞に入賞し、県内の公共施設で展示されることとなった。今後も様々なポスターコンクールに積極的に応募していきたい。(顧問 石倉 正)



止まろう  
後悔する前に  
勝田さんの作品

### インターアクトクラブ

高瀬川クリーン作戦

出雲南ロータリークラブが主催する「高瀬川クリーン作戦」があり、インターアクトクラブ生徒14名が参加した。上流で川の水を止めて、足首くらいまで水位が下がったところで、川底清掃をした。空きビン・空き缶・乾電池などの小さなゴミから、流木、壊れた傘、衣類といった大きなゴミまで、2〜3キロほどの清掃区域の中で多くのゴミが集まった。毎年恒例の活動ということもあり、ゴミの量は徐々にではあるが少なくなってきている。



小雨が降ったり止んだりする中、2時間ほどの活動だったが、終わった時は気分は晴れやかで清々しくなった。

時 11月13日  
於 出雲市内高瀬川流域

### 第28回出雲北陵高等学校 英語レシーションコンテスト

時 11月3日  
於 中高棟北陵ホール

今年で28回目となる本校主催のレシーションコンテストが開催された。今年度は小学生の部が21名、中学生の部が34名の参加があり、島根大学外国語教育センター教授のカメラ・リスキー先生をお迎えし、厳正なる審査が行われた。団体賞は島根大学教育学部附属義務教育学校

が選出された。入賞者は次の通り。  
\*団体賞  
島根大学教育学部附属義務教育学校

\*個人賞  
〔最優秀賞〕

奥井瑛麻(塩冶小4年)

春木柚葉子(島大附属9年)

〔優秀賞〕

奥井大風(塩冶小1年)

後藤ヤスシ(出雲三中2年)

稲毛マイナ(出雲三中3年)

岩谷晴琉(大田一中3年)

〔奨励賞〕

大瀧元夢(大津小4年)

小玉智貴(西野小4年)

片岡陸深(島大附属7年)

江川日奈子(島大附属9年)

梶谷莉央(湖陵中3年)

景山由菜(湖陵中3年)

吉川 心(湖陵中3年)



島根大学教育学部附属義務教育学校の皆さん



中学生の部受賞者の皆さん



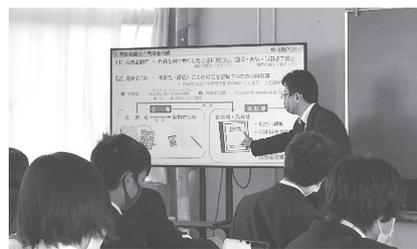
小学校の部受賞者の皆さん

### 公開授業(新任者研修)

10月27日(木)、本校にて新任教員3名による公開授業が行われた。

この研修は教科の垣根を越えて授業力の向上、教科指導を研鑽する目的で毎年実施されている。新任教員の3名はいずれも緊張感を持ちながらもICTを駆使して熱のこもった授業を展開した。他の教員は参観し、その後、授業者を交えて講習会を開き、意見交換を行なった。授業のあり方について再認識できた充実した研修となった。

今川先生による歴史総合の授業



永瀬先生による簿記の授業

### 企業ガイダンスを開催

11月14日、本校キャリア教育の一環として、2年生全員を対象に25社参加による「企業ガイダンス」を開催した。

生徒は各企業のブースを移動しながら、本人の希望を含めた4社の説明を聞いた。進路をすでに決めている人は他業種から新鮮な話を聞き、まだ悩んでいる人は進路を決めるヒントをもらえたようであった。これからの進路を考えるいいきっかけになったと思う。

最後に、引き受けていただいた企業の皆様、また鳥根県商工労働部雇用政策課、出雲地区雇用推進協議会の皆様には大変お世話になりました。厚くお礼申し上げます。



### 2年生看護・医療系おしゃべり研修

時 10月18・19日  
於 本校

2年生看護医療系列の生徒9名が、基礎看護の授業の一環として、心身の障がいについて知り、看護での支援の仕方を学ぶことを目的とした出雲市社会福祉協議会主催のあいさ波特研修を受講した。

生徒達は「障がいを知り、共に生きる」ことの大切さを強く感じていた。また、それぞれの障がいに関し



添って「どんなコミュニケーションをとれば良いか」「何を手助けすれば良いか」を具体的に学んだことにより、生徒は、「困っている人を見かけたら、その人にとって必要な援助は何かをよく考えて行動していきたい」と述べていた。

### 川跡駅看板リニューアル



新出雲市体育館の開館等に併せ、一畑電鉄川跡駅ホームの看板をリニューアルしました。県内外の多くの人の目に留まり、出雲北陵中学・高等学校の更なる認知度向上につながることを期待しています。

### 中学校

### 第44回少年の主張全国大会

#### 奨励賞受賞!

時 11月13日  
於 国立青少年教育振興機構

弁士 高橋ゆかり(中2)  
演題 二度の出会い

この大会は昭和54年の国際児童年を記念して開催され、今年で44回を迎えた。全国約39万人の参加者から選ばれた12名の中学生が、日頃抱えている思いや考えを発表した。本校からは初めての出場場で、9月に中四国ブロック審査会を見事に突破して栄える全国大会出場者のひとりとなった。

動画審査という形式だったことによ

り、自分の素直な気持ちを、全国の人に伝えることができた。この受賞がきっかけとなり、本人のみならず、皆が社会の一員として周囲に目を向け自分の考えをもつことができれば幸いと思う。(担当 別所美喜子)

### 卓球部

### 第58回出雲地区中学校新人卓球大会

時 11月10日  
於 安来市民体育館

- (男子団体) 優勝(4年ぶり9回目)
- (男子シングルス) 優勝 金丸 陽(中2)
- 2位 波多間怜偉(中2)
- 3位 松崎優樹(中2)



左から個人戦入賞の金丸、波多間、松崎  
○大会総評  
右記の結果により、12月に開催される県大会への出場権を獲得した。今大会で見つかった課題を克服し、次の大会でも優勝できるように頑張りたい。(顧問 相場翔太)

### 野球部

### 鳥根県中学校新人軟式野球新人大会

時 10月30日  
於 大田第二球場

- 1回戦 本校・湖陵 3-1 大田二
- 2回戦 本校・湖陵 0-8 松江二

○大会総評  
1回戦は優勝候補の大田二中と対戦した。序盤得点を許したが、投手を中心に粘り強く守り、後半逆転し勝利した。2

回戦は守備の乱れがあり大量得点を奪われ敗れてしまったが、鳥根県の強いチームが集まった大会に出て勝利できたことは大きな自信となった。この冬、心も体も鍛え、更にレベルアップしたい。(顧問 手銭修司)

### バスケットボール部

### 第67回出雲地区中学校新人バスケットボール大会

時 11月10・11日  
於 カミアリーナ

1回戦 本校 35-64 湖南  
○大会総評  
主力選手のコンディション不足や怪我が重なり、思うような試合をすることができなかった。県総体ではリベンジしたい。ご声援有難うございました。(顧問 多々納厚比古)

### 中学一年生ふるさと学習

10月26日(水)に中学1年生12名が松江市に出かけた。「ふるさと鳥根の歴史めぐり」をテーマに、3人4班のグループに分かれて活動を行った。

松江城を中心に、武家屋敷や小泉八雲記念館、城山稲荷神社や護国神社などを調査した。当日は天候にも恵まれ、気持ちのいい秋晴れの中、クラスメイトと楽しく協力しながら活動することができた。



### 中学2年生 職場体験学習

時 10月26・27日  
於 出雲市内13事業所



湖陵小学校にて

今年度の職場体験は3年ぶりに2日間の体験を実施することができた。教育・農業・販売・介護・医療・公的機関・動物関係など様々な職種において、生徒達が実践的な学びを体験することができ、本場に充実した2日間となった。

体験当日、生徒達は職場の方々に丁寧な指導を受けながら、真剣な眼差しで熱心に仕事に向き合っていた。コロナ禍での職場体験ではあったが、どの事業所でも優しく親切に生徒達に接していただいた。この場を借りて、深くお礼申しあげました。有難うございました。



今井書店にて

### 中学3年生 イングリッシュ文化体験 (英語研修ハイチャル異文化体験)

10月24日(月)～26日

(水)の日程でイングリッシュキャンプを実施した。参加者は中学生17名。株式会社ISAよりアメリカ出身のダンエル先生を講師にお招き



し、3日間英語漬けの日々を過ごした。始まる前は不安のものが大きかったものの、「間違っても大丈夫。楽しくやろう」という明るい雰囲気と、工夫の凝らされたカリキュラムのお陰で、英語が苦手な生徒も積極的に英語を学ぼうとする姿がみられた。また、オンラインによる疑似ホームステイ体験では、ニュージーランドとZoomをつなぎ、英語を通して、ニュージーランドの文化や生活について知る機会を持つことができた。3日目の最後には、一人ずつ全体の前でスピーチを行った。

気がつけばあっという間の3日間であり、修了証が渡されると、達成感に満ちた表情を浮かべていた。オーストラリアに行くことはできなかつたものの、貴重な経験をさせていただいた。今回の研修を今後の授業や、海外に行った際に活かす、世界を広げていってほしい。



### 第2回校外講師特別講座

地域貢献活動について学ぶ

11月16日、校外から15名の講師の先生方をお迎えし、一年生は高齢者疑似体験とデジタルサポート体験を、二年生は点字と手話の体験学習をそれぞれ受講した。講師の先生方は出雲市社会福祉協議会及び出雲市総合ボランティアセンター



を窓口にも、介護福祉に携わる方々、点字ボランティア「ブライユ」の方々、ろう講師様、いずもデジタルサポート様、出雲市福祉推進課及び高齢者福祉課の職員の皆様にお世話いただき、福祉への理解を深め、社会貢献の必要性や課題にふれ、改めて考える良い機会となった。各講座後の閉講式では各班代表生徒が感想を述べ、各講師の方から講評をいただいた。

三年生は川跡コミュニティセンターを訪れ清掃活動や広報書類の仕分け作業等をした。道中はごみ拾い活動も行った。

### 【生徒感想】

私達は普段何気なく生活をしています。しかし、ふと困った時などに人に支えられて不自由のない日々が過ごせているのです。ボランティアもそうですが、福祉の方達は特にそうです。見えなくても色々な方達が私達を支えておられます。私もそういった方々の支えがあつて、ここまで生きてきました。自分が気づいていないだけで多くの人に助けられてきたことを知りました。私も支える側になって多くの人を助けたいと思います。人に支えられるだけでなく、今までそうしてもらったことを後世の人に恩返しをしたいと思います。今日のような学習を通して、より幸せについて考えるようにしたいと思います。



宮國蒼来(中1北陽)

### 出雲科学館 理科学習(中学1年)

時 11月4日

出雲科学館において、中学1年生の理科学習が実施された。物質の姿と状態変化について学習した。1時間目はサイエンスホールでの実験を鑑賞し、2・3時間目は実験室でグループに分かれて混合物の分離を行った。この実験を通して理解を深めることができた。



### 体験講座

11月19日(土)に体験講座を開催し、華道部体験を設け、市内の小学生に参加してもらい、フラワーアレンジメントに挑戦した。また体験講座に合わせて、入学説明会と個別相談も行った。説明会にも多くの方に参加していただき、賑やかな1日となった。



## 作品と研究

本年度、少年の主張で中学三年生高橋ゆかりの演題「二度の出会い」が、出雲市の代表として出場した県大会で島根県知事賞を受賞し、本校開校以来初の中四国大会に駒を進めました。そして、中四国大会でも上位二名に選出され、中四国ブロック代表として全国大会に出場し、奨励賞をいただく快挙を成し遂げました。聞く人に想いを伝える話し方はもちろん、原稿も素晴らしい内容でした。全国トップレベルの作品ですので是非読んでみてください。

### 二度の出会い

高橋ゆかり(中3)

え、。  
そう心の中でつぶやいてすぐに、声に出なくて良かった、と思いますし  
た。

それは、小学四年生の終わりのことでした。終了式を終えて、いつもより早く帰宅した私は、近所のコンビニへ昼食を買いに出かけました。当時は一人で買い物することに慣れていなくて、緊張したまま商品を選びレジに並びました。レジで会計を

してくださったその店員さんは、柔和な表情をしたとても優しい方でした。もしも親と来ていたらこの優しさに気づけなかったかもしれないと思うと、勇気を出して一人で来て良かったと感じました。その時でした。おつりの準備をしてくださっているその店員さんの片手をふと見ると指が全て無かったです。

私の心は一転して、再び緊張に駆られました。はやる鼓動のまま家に帰り、先ほどの出来事について考えました。今まで「人を見た目で判断してはいけない」と思ってきましたが、いざその場面になると私は「恐怖」を感じてしまいました。その日からしばらく、私はこの事ばかり考え続けていました。

それから月日は流れて、中学生になったある日のことです。学校から自転車で帰宅する途中に声をかけてくださった人がいました。狭い道を工事車両がふさいでいて、別の道へ迂回しようとしていた私に、「通るだけ」と言ってくださった工事現場のおじさん。私が自転車から降りると、重たいリュックを乗せたままの自転車を持ち上げて、工事車両の向こうまで運んでくださいました。これまで何度も工事現場の近くを通ったことはありましたが、ここまで親切

にされたのは初めてで驚くと共に、優しい方だなと温かい気持ちになりました。そしてすぐに、そのおじさんの片手には指が無いことに気がついたのです。とっさに、しまいこんでいた小学四年生の頃の記憶が蘇ってきました。しかし、恐怖などは全く感じず、私の心は温かいままでした。

恐怖心を感じなくなっていたのは、おじさんとの最初の出会いから、人の内面に目を向けることを意識するようになっていたからだと思います。おじさんとの二度の出会いが私にくれたもの、それは「人を見た目で判断してはいけない」という確信です。

これは、誰もが当たり前のようについて、分かっていることかもしれませぬ。多様性を表すダイバーシティという言葉を最近よく耳にします。見た目や考え方にとらわれず多様性を受け入れることが本来の社会のあるべき姿だという考えが当たり前になってきています。けれど、自分と違う見た目の方に突然出会った時、驚いてその見た目にばかり気が向いてしまう方も少なくはないと思います。実際に、私はそうでした。人と違う見た目を隠すことなく、当たり前前の優しさで私に接してください

ったおじさんは、当たり前のことを当たり前にする難しさと、その大切さを教えてくださいました。

私は、自分を人間的に成長させてくれたこの出会いにとっても感謝しています。また、月日が経った二度の出会いの両方で、親切に対応してくださったそのおじさんを尊敬しています。

これから先、私は、人を見た目で判断して心を閉ざしたり、差別したりするのはなく、当たり前のことを当たり前にできる人を目指します。

今月の  
1枚

高文連出雲地区絵画コンクール優秀作品

秋国

由美  
(26歳)

